

生成 AI を活用した働き方改革の推進

福島町立福島小学校 学級数7 (校長 長浦 紀華)

□ 実践の概要

本校は、教職員の多忙化を解消し、教職員が児童と向き合う時間を最大化するため、生成AIを活用した働き方改革の推進を今年度の重点に位置付け、教職員の生成AIの活用能力の向上と効率的かつ効果的な業務改善の推進に取り組んでいる。

1 実践の目的

GIGAスクール構想の下、生成AIを活用した働き方改革を進めるとともに、将来、児童が生成AIを活用することを見据え、児童への指導に資するためのAIリテラシーの向上を図る。

2 実践内容

(1) 実施計画

次のOODAループのサイクルにより生成AIを活用した働き方改革を推進した。

- O：業務課題を分析
- O：研修と環境整備で方向性を決定
- D：生成AIを活用した実践及びプロンプトの共有・集積の推進
- A：さらなる活用と効果検証で改善を加速



【生成 AI 研修の様子】

(2) 取組の具体

① 生成AIの活用及び業務効率化に向けた研修の実施

外部リソースを活用し、教職員が生成AIを適切かつ安全に活用できる基礎知識と操作スキルを習得する研修を実施するとともに、生成AI活用によって創出された時間の具体的な活用方法を検討し、働き方改革に対する意識改革の徹底を促した。

② プロンプトの共有・集積

教職員が業務で活用して効果があったプロンプトを体系化し、教職員で共有及び集積する仕組みを構築することにより、教職員間の知識及び経験の格差を解消し、すぐに活用できる事例を増やしている。

＜共有・集積したプロンプト事例＞

- 【学習指導】・教材(案)の作成 ・学習評価ルーブリック表(案)の作成
- 【生徒指導】・それぞれの立場の主張とその背景を整理した生徒指導上の問題解決
- 【校内業務】・個人懇談の進行要旨案の作成 ・会議議事録案の作成 ・危機管理マニュアルの見直し
- 【校内研修】・研修内容を元にした報告書案の作成 ・校内研修計画案の作成

③ Canva等との連携による教材及び広報資料作成の質の向上

Canva等のクリエイティブツールと生成AIを連携させ、生徒指導、授業準備及び保護者向け広報資料の作成の効率化を進めている。特に、視覚的な資料作成にかかる時間が削減されるとともに、生成AIを組み合わせて活用することにより、思いつかなかった表現方法やデザインが提示されるため、教職員の創造性を高めることにも寄与している。

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

生成AIを活用した業務改善を学校設定項目に位置付けた業績評価では、前期の自己評価において、全ての教職員が「生成AIを効果的に活用し、業務改善を図った」と回答。

また、教職員の時間外勤務については、昨年度の同時期と比較して一人当たり毎月平均2時間削減。生成AIを活用している教職員ほどその傾向は大きい。

(4) 改善後の取組

全教職員が、一定の水準で生成AIを活用し、業務改善を進めることができるよう継続した研修の実施やプロンプトの共有・集積を進める。

児童がいつでもどこでも教材等をインターネット上で取り組んだり、確認したりできるよう教材をHTML形式にするなど、一人一人の学習状況やペースに合わせた学び方ができるよう学べる環境を整備する。

3 実践のポイント

- ・生成AIを効果的に活用することで、業務の精度とスピードが上がるなど、働き方改革が進んだこと。
- ・児童の生成AI活用を見据え、教職員の適切な生成AIの活用に対する理解が深まり、活用能力が高まったこと。